

第3子保育料無料化と、第3保育所の建て替えを

関口 祝嘉 議員



Q 町長は「子供を育てるなら玉村町」「住んでよかった玉村町」といつも話しているが、当町では第3子の保育料の無料化についての考えはあるか。

A 町長 同一世帯から3人以上の児童が入所している場合は、第3子以降の児童の保育料は無料となっています。上の子が卒所し、小学校に入

学した時の保育料は、同一世帯から2人の児童が入所した場合の保育料となります。今後、近隣市町村を参考に、財政状況を勘案しながら検討していきたい。

Q 第3保育所の建て替えについて。築40数年たっている建物である。誰が見ても危険な建物ではないか。

A 町長 玉中が対震度調査で危険な建物と診断され、建て替えることになり、平成19

に工事が着工となる。続いて、第3保育所の建て替えを考慮すべきである。

A 町長 玉村町で一番古い保育所なので、建て替えは考えています。第3保育所およびほかの古い保育所や建物について、危険な建物かどうか調査し、財政状況を勘案しながら検討していきたい。



老朽化した第3保育所

環境行政および教育行政を問う

島田 榮一 議員



Q ごみの不法投棄や犬の糞の始末など、マナーの欠如が著しい。自然環境に恵まれた玉村町をきれいにする意識改革により、日本一きれいな町の創造をスローガンにしてはどうか。

A 町長 ごみや糞害の防止対策については努力しているところだが、きれいな町の創造をスローガン

に住民とともに共有できれば大変望ましいことであり、今後検討していきたい。

Q 川井沼の釣り場の管理はどのようになっているか。特にトイレの管理がずさんである。

A 町長 釣り場の管理については、沼周辺の雑草除去を年2回業者委託し、釣り愛好家の皆様に空き缶、ごみ拾いなど協力していただいている。トイレについては、今後改善していきたい。

Q 若者の政治離れの対策として、子供議会開催と新聞を良く読む子供の育成を提唱したい。

A 教育長 社会のしくみに関することは教科書だけで学ぶのではなく、体験的に学習することが大切である。また、新聞は学ぶべき内容が満載で、活字離れと言われている今日、新聞を含めた読書活動を進めたい。

Q 烏川左岸の玉村ゴルフ場の南東部分

のサイクリングロードが、増水による侵食で崩落し、17年度に約100メートル護岸工事をした。下流が危険なため、引き続き護岸工事を求める。

A 町長 関係機関に要望した。今年度さらに下流250メートルを整備することである。



川井沼全景

英語力を向上させる施策は町の重症者用介護施設は十分か

中里 知恵子 議員



Q 平成16年度中学校「玉村町総合学力調査」(特に英語)の結果、その結果を授業運営にどう生かしているのか。

A 教育長 英語に関しては「表現」の部分で、全国平均よりやや低い

が、「理解」「言語文化理解」は平均よりやや良い。テストの調査結果分析を行い、授業改善プランを学校組織

Q 玉村町には英語を専攻科目とする指導主事がいないのか。学校は授業内容をどのように把握しているのか。

A 教育長 玉村町の指導主事は年数回、中部教育事務所からの英語指導主事は2回学校訪問をし

Q 玉村町における重度認知症などの受け入れ可能な施設数とベッド数を地域包括支援センターではどう把握しているのか。

A 町長 ベッド数171、施設は4である。諸介護施設に対して、高齢者代表あるいは専門家グループによ

Q 玉村町における重症対応型共同生活介護が福島にあり、五料には認知症対応型通所介護がある。設備および運営に関する基準により「運営推進会議」を平成18年から事業者が設置し、サービスの向上を図る。

A 町長 本町には地域密着型サービスとして認知症対応型共同生活介護が福島にあり、五料には認知症対応型通所介護がある。設備および運営に関する基準により「運営推進会議」を平成18年から事業者が設置し、サービスの向上を図る。



南中学校 (玉村中でも授業参観を実施)

土曜スクールについての考えは

齊藤 嘉和 議員



Q 「ゆとり教育」により子供たちの学力が低下していると言われているが。

A 教育長 町では、子供にとっても教師にとっても「ゆとり」のなかで学力を向上させることが重要な課題と思っている。

そこで、町教育委員会としていくつかの具体的な手立てを講じている。

1つ目は「町総合学力調査」である。小学校2教科、中学校5教科とそれぞれ意識調査を行うもの。

2つ目は「たまむらプラン」の実施である。これはすべての小中学校に町費で先生を一人雇用して少人数指導にあたってもらっている。

3つ目は学校支援センターの機能を活用した放課後や長期休業中の補充学習である。授業中に理解できなかった内容などについて、

放課後、学校の先生方に加え、ボランティアの協力をいただき、補充学習を行うもの。

4つ目は「二校一改革」である。7つの小中学校が学校長のリーダーシップのもと子供たちに生きる力をも身につけるために、テーマを一つに絞り、年間を通じて取り組むもの。

以上のような取り組みを総合的に推進していくことで、玉村町の子供たちに確かな学力を身につけていこ

うと考えている。よって「土曜スクール」の導入は考えていない。



不審者侵入を想定した避難訓練 (上陽小学校)